

物価がどんどんあがって 大変なときに...



学校給食費



なんてやめてほしい

7月22日の文教委員会で、「葛飾区学校給食費検討委員会」を設置することを報告しました。食材費や原材料費が高騰しているもとの、これまでの給食の質を維持するために検討するというのが理由です。事実上の値上げ宣言です。

しかし、物価高騰の影響を受けているのは区民生活そのもの。とくに、子育て中の若いお母さんたちのやりくりは大変です。



今年から子どもが小学校に行きはじめたけど、体操着、ピアノカ、絵の具と出費ばかり。さらに、給食費が値上げになったらどうしよう……。

公費負担で 学校給食を守れ

江戸川区では、約5億円の補助をして、給食費の保護者負担の三分の一程度を軽減しています（例えば中学校で月額4850円のうち1440円を区が負担）。

この他、23区内には公費を使って給食費の値上げをおさえているところもあります。

身近な自治体として、区が子どもたちの給食を守り、保護者の負担軽減をすることは、当然のことではないでしょうか。

葛飾区の積立金は700億円、お金は十分あります

葛飾区は、「将来のため」といって積み立てたお金が700億円もあります。さらに、「庁舎建替基金」をつくらせて積立を増やしているのです。

そのほんの一部を使えば給食費の値上げをおさえ、区民生活を応援するさまざまな仕事がたくさんできます。

給食費の次は 保育料、学童保育クラブ

もし、学校給食費が上がるようなことになったらどうなるでしょうか。

物価高騰の影響は、給食費だけではありません。保育料や学童保育クラブもけっして例外ではありません。次から次へと公共料金の値上げへとひろがります。

給食費の値上げは、その第一歩です。



日本共産党区議団が区へ要請

7月24日、日本共産党葛飾区議団は、区教育長に、学校給食費保護者負担の引き上げをおこなわないよう要請しました。



区民の税金でため込んだ積立金は、区民のために使うべきです。

ごいっしょに、声をあげてまいりましょう。

日本共産党
葛飾区議団だより

2008年8月発行 日本共産党葛飾区議会議員団
号外責任 濱川ひとし
電話 (5654)8520 * (5698)3839
e-mail aa f23300@pop06.odn.ne.jp